

令和4年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 令和5年4月14日
- 事業名 : 被災者の孤独・孤立防止と地域コミュニティ創生事業
- 資金分配団体 : 一般財団法人ふくしま百年基金
- 実行団体 : 一般社団法人 Teco
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無 : 有 無

1 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
(1) お茶会やイベントを開催し、住民に交流の機会を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 (お茶会、マルシェ、移動販売) ・参加/利用者数 (お茶会、マルシェ、移動販売) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶会 各団地月1回、10団地× 毎月=120回(可能な限り 全16団地になるよう努める) ・マルシェまたは移動販売 年延べ12回 	2024/ 03/31	<ul style="list-style-type: none"> ■お茶会等 計65回/延べ570人 8団地で開催(内5団地は月1回開催開催) ・団地毎に合わせた多様な交流会を開催 ・1団地は月2回当法人主催で健康体操を行う ・カウンセラーを招き相談会を併設 ・蕎麦打ち交流会では集会所活動が困難な団地において、場所を変更し交流会を実施(2団地+地域住民地域住民) ■311追悼イベント 850人 ・団地自治会と地元区共催にて復興公営住宅で開催 ・集会所内では8団地+地元区の手芸作品等を展示。 	2

<p>(2)見守りとセットの配食を希望する人に対し、配食サービスを提供</p>	<p>延べ配食数</p>	<p>1,920回 80人×月2回×2年(特に支援が必要と感じる8団地、各10名を重点的に配食)</p>	<p>2024/03/31</p>	<p>■見守り配食はアンケート結果等から需要が無い為中止 ・交流会時8団地にてアンケートを行った ・配食の試食は行った ・今後は個別訪問に切り替え</p>	<p>3</p>
<p>(3) ・困難を抱えた人を福祉や専門機関へ繋ぐ ・社協等の情報共有会議を開催する</p>	<p>連携件数 情報共有会議開催数</p>	<p>・対象16団地、各団地年3回×2年=96回 ・合同会議 延べ2回 ・支援実績32人月1人×16団地×2年</p>	<p>2024/03/31</p>	<p>■浪江町社協と共催で交流会を開催 避難者(2団地)といわき市民の交流が出来た ■各社協と情報共有 (大熊/浪江/双葉/富岡)に毎月の交流会の予定を共有 ■全団地懇談会は出席 ・団地の役員が出席する交流会に出席 ■浪江町補助金申請等をサポート カウンセラーを招き相談会を併設 【連携団体】 NPO 法人ザ・ピープル/NPO 法人いわき鳴き砂を守る会/NPO 法人いわき鳴き砂を守る会/NPO 法人ふくしま連携復興センター/内郷・好間・三和地域包括支援センター/訪問美容カット&パーマしょうこ/Cieblue Afoma/天空の里山/東京電力ホールディングス(株)</p>	<p>3</p>
<p>(4)キーパーソンになりうる方のエンパワメントを引き出し、自主的に自治会活動やサークル活動を運営できるように促す</p>	<p>・キーパーソン候補者の洗い出し人数 ・若者が参加したイベントの延べ人数</p>	<p>・キーパーソン候補者3人×10団地=30人 ・若者延べ100人</p>	<p>2024/03/31</p>	<p>■キーパーソン 候補者30名 ・団地役員、サークルリーダー等 ■若者参加 ・いわき医療センター看護学生7人 ・一般若者ボランティア6人</p>	<p>2</p>

*進捗状況：1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3.活動に関する報告
<p>・コロナ禍により交流機会が乏しく心身の健康被害等も懸念されることより、団地自治会長等と話を重ねた。その結果、多くの団地で2年以上ぶりに交流会を再開する後押しができた。また、5団地においては(宮沢/勿来酒井/関船/下矢田/中原)当法人主催で、毎月1回交流会を開催できている。</p> <p>・手仕事が得意な団地は「筆文字交流会」や「ちぎり絵交流会」など、特に高齢者が多い少人数の団地はお話やお茶会をメインにしたり「フラダンス鑑賞会」などを行うなど、団地の特色や要望に合わせた交流会を開催。また、夏休みや春休みに合わせて子ども向けの交流会を開催した際は、普段数名の参加者であるのに対して20名以上の子どもや親子での参加があり、新しい交流を創出できた。</p> <p>・勿来酒井団地においては、地元区の回覧板も活用し周知を行うことで、地元区長や地域住民も多く交流会に参加するようになった。そこで、さらに団地住民と地域住民の交流促進を目的とし「ふくしまの未来を繋ぐ」と題して3月11日にイベントを開催。団地住民と一緒に豚汁を作り振舞ったり、地元区の伝統芸能に団地住民と当法人も参加し披露したり、また、子ども向けの遊具やワークショップの出展も増やしたことで子連れの参加が多く、地域間交流や世代間交流も活発に行えた。</p> <p>・311 イベントは屋外での音楽イベントやマルシェの他、集会所内で復興公営住宅等の手芸作品の展示も行った。8団地の出展参加があり、当日は4団地から参加者が訪れ、共通の趣味を通じた他団地間の交流もあった。</p> <p>・見守り支援においては、配食支援の需要がなかったことより、個別支援に切り替え宮沢団地と中原団地を重点的に行う。集会所に足を運ぶのが物理的に困難な方や、心に傷を抱え壁がある方等様々な理由の方がいるが、定期的に訪問し、物資を届けたり相談を受けたりしている。継続する中で災害ケースマネジメントのモデルケースとしていく</p>
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して事業活動を行う際に工夫した点
・手洗い/消毒/検温/名簿管理/換気等の徹底

2 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1. .メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） ・復興公営住宅で開催した交流会等全て Facebook/Instagram 等で随時発信 ・朝日サリー ・3月11日の「ふくしまの未来を繋ぐ」が ★新聞データ添付
2. 広報制作物 復興公営住宅の交流会等のチラシは毎回、各団地の掲示板に掲示。勿来酒井団地は団地内と地元区の回覧板で回覧。 休眠預金活用事業であることも必ず記載 ★チラシデータ添付
3. .報告書等 総会資料の事業報告書に本事業内容も記載。総会で役員に周知。
4. イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ・311 イベントの際は、周知の段階から団地の現状やイベントの主旨、休眠預金活用事業であることを関係者等に広く周知。 イベント当日も参加者に開催の意図や思いを深く共有。団地自治会長と地元区長にもご挨拶頂いた。 ・いわき市長と当法人が1時間の対談を行った。復興公営住宅の現状や課題をお伝えすることができた。

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input checked="" type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input type="checkbox"/> 未公開 → 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



ちぎり絵交流会（関船団地）

コロナ禍以前は、定期的にお茶会を開催していたが、この2年以上全ての活動を自粛していた。その間、高齢化で退去も相次ぎコミュニティが失われつつあった。そこで、感染症対策を徹底した上で、健康体操を取り入れたり、手仕事得意な方が多いのでモノづくりを多く行ったりした。

この日はちぎり絵で暑中見舞いハガキを作成！夏休みの為お子さんも参加。出来上がったものはお孫さんなどに送ると言っていた。



健康体操（宮沢団地）

コロナ禍で2年以上活動を休止していたが、体操やお茶会も再開したいとのことで、当法人主催で月2回健康体操を開催。当初はほぼ女性のみの参加であったが、今では男性の参加者も増加。懐かしの歌謡曲を口ずさみながら、座ったままできるストレッチやダンス体操など様々な運動や脳トレを取り入れ行っている。体操後は、お茶会を開催。世間話から団地内の悩みまで様々な話を伺い必要であれば関係機関に繋ぐ。



フラダンスクリスマス会(下矢田団地)

今年度は、月1回当法人で交流会を企画。特に高齢者が多い団地なので、細かな作業よりはゆっくりしたお茶会や体操を行う。クリスマス会は市内のフラダンス教室の皆さんに来て頂き、ダンス披露や簡単フラレッスンを行った。まじかで観ることができ感動していた。また、講師の方は、震災時フラガールのセンターで絆キャラバンでは仮設住宅等を慰問しており、話にも花が咲いた。



ふくしまの未来を繋ぐ

市内で一番入居が遅かった団地の為、入居当初からコロナ禍であった。しかし6月より月1回の当法人主催の交流会を行う中で、回覧板で地元区にも交流会を周知したことより、今では参加者の約半数が地域住民となった。今まで以上の横の繋がりや顔の見える関係性をつくる機会とすべく、勿来酒井団地自治会と勿来酒井自治協議会が共催で、3月11日に震災追悼イベントを開催。市内外の福島に想いを寄せる10組の出演と、20組の出展があり、復興公営住宅住民やいわき市民が850人集い震災を振り返る貴重な1日となった。